みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ情報紙
MINAMI-LOUNGE：http://tabunka.minamilounge.com/
2021年12月 発行NO.103

アクセスみなみ

参加者募集中！

2021年度 南区地域課題講座
つながる・楽しむ市民活動～はじめの一歩～

地域で楽しむ活動を始めてみませんか？誰かのために役立つ活動が、きっと生き生きとした毎日をもたらしてくれます。

第１回
2022年１月11日（火）13:30～15:30
南区を歩いて地域を知ろう！
講師：横浜みなみガイドボランティアの会

第２回
2022年１月18日（火）13:30～15:30
わくわく　マジック講座
講師：南区街の先生　奇楽人・YUKI 氏

第３回
2022年１月25日（火）13:30～15:30
地域で活躍する団体を知ろう！＆グループワーク
講師：・大岡川 Fun Club
・NPO法人 おもいやりカンパニー
・NPO法人 ひだまりの森

お申込み方法は４面をご覧ください。

詳しい内容はみなみラウンジHPをご参照ください。
https://tabunka.minamilounge.com/news/758-2022-1-11

2021 みんなの「わっ!」フェスタ

●11/27街の先生ミニワークショップを開催しました。当日の様子はHPで公開します！

●市民活動団体パネル展ラウンジにて展示中
クイズラリーも開催中です！(2/28まで)

●「多文化ステージ・日本語スピーチ」みなみラウンジHPで公開中

韓国語、マジック、合気道、相撲体操を楽しく体験しました。

フィリピン、インド、ペルー、中国、日本など様々な国の方が参加して、みんなで楽しくダンスや語り、太極拳などを行いました！！

動画はこちらからご覧ください。
https://tabunka.minamilounge.com/about/festa2021

感染防止のため、換気・消毒を徹底しています。
来館の際には、マスクの着用・手指の消毒・体温測定などへのご協力をお願いいたします。

特集：外国につながる高校生等がボランティア体験をしました
～夏休みにイベントのブース企画から実践まで挑戦しました～

夏休みを利用して、南区内在住または南区の高校に通学する外国につながる高校生等9名が全5回のボランティア体験をしました。南区青少年の地域活動拠点M-baseの夏のイベントであるサマープログラム「縁日」・みなみラウンジの「ふれあいまつり」で子ども向けのイベントを行うことを目指し、どんなブースを出すのか、企画から下見・準備・実践まで挑戦をしました。

第1回：オリエンテーション（初顔合わせ）

ボランティア活動に始めるにあたり、オリエンテーションを重視し、心構えから、自分の意志で参加することの大切さを学び、今後の活動に向かう気持ちを固める時間となりました。

顔合わせで、名刺交換をしました

誰かの役に立ちたい、自分を変えたい、もっとコミュニケーションを取れるようになりたい等、参加理由は様々です。

初めて会う仲間に緊張しながらも、ボランティアについて、みんなで考えました。

第2回・第3回：企画～準備

2チームに分かれ、それぞれ考えた案を出し合い、自分たちのチームでは何をするのかを話し合いました。

出し物は、射的とタングラムパズルに決定

出すものが決まれば、あとは、チームごとにどんなルールにするのか、どんな手順で遊んでもらうのが良いか、考えながら、準備を進めます。外国につながる生徒も多く参加しているので、日本語・中国語が飛び交い、にぎやかに準備は進みました。

第4回：ふれあいまつり準備

サマープログラム「縁日」は延期となり、ふれあいまつりの準備・試行日となりました。2チームに分かれ、実際に配置をし、子ども役とアテンド役に分かれ、予行演習をしました。

ブースの看板は、ユースボランティアメンバーの手作り！力作です！

第５回：ふれあいまつり当日

感染防止対策を行い、いざ、「ふれあいまつり」開催！自分たちのチームで運営する「射的」と「タングラムパズル」のブースのほかに、街の先生による「凧作り」と「押し花で作るしおり」のブースのお手伝いもあるので、ユースボランティアは大忙しでした。参加した小学生が楽しめるようにと、やさしく声をかけたり、手伝ってあげる姿がみられました。

<射的>
輪ゴムをつけたり、的をつくったり、手作業が多いので、一つ一つサポートをしました。

<タングラムパズル>
難しいものはヒントを出したり、「できてうれしい！」気持ちを感じてもらえるようにサポートしました。

<凧作り>
主に、凧を竹ひごに貼る作業をお手伝いしました。

<押し花>
自分のすきなお花をならべてしおりづくり

＜ボランティアプログラムに参加して＞（参加したメンバーの感想から）

自分たちでいちから企画して実施するのはほぼ初めてのことでした。みんなと一緒に考える時間は、お客さんのことを考えながら準備したのでとてもわくわくしました。 / 最初みんなと話すのが怖くて、緊張していました。でも、話し合いで少しづつ話せるようになりました。思っていたより、ボランティア楽しかったです。 / ボランティアのメンバーはみんな優しく、子ども達だけでなく周りのみんなからもたくさん元気をもらいました。やっぱり協力は大事だな、と実感しました。 /

みんながラウンジで一緒にゲームをしたり、押し花をしたり、凧をつくったりしました。とても楽しかったです。 / 最初はすごく緊張して、意見を言うのもすごく勇気が必要でした。中国語が母語の人も何人かいたのですごく安心して、あまり話さなかった人とも話せるようになれたのが良かったです。 / 多様な人と交流でき、コロナ禍でもお祭りができとても楽しいものになりました。 / 凧の作り方や子供とのコミュニケーションの方法など、多くのことを学びました。子どもと話すときは、目を合わせて優しく話すことが大事だと思いました。 / オリエンテーションで他の人と接するとわかった時は結構焦って、避けたいという気持ちもありましたが、挑戦してみようと思い、参加しました。最後には自分からも話しかけられるようになったので、一歩新しい世界に踏み出すことができました。

＜南区施設紹介⑪＞南区青少年の地域活動拠点　M-base （エムベース）

（横浜市南区睦町1-15-15　横浜青年館内）
電話：045-308-6610　FAX：045-308-6652　URL:http://super-ykst.jp

～地域の子ども達の居場所として、もっとたくさんの人に知ってもらいたい～

青少年の地域活動拠点M-base（エムベース）を訪問しました。

M-baseは、主に中高生世代を中心とした、青少年や地域の大人などいろいろな人が気軽に集まり活動をする場所です。下記プログラムやイベント、学習やおしゃべりのスペースとして、自由に利用ができます。

現在は、日曜・月曜が休館で、火曜日から土曜日まで様々な放課後プログラムがあり、近隣の小学生・中学生が参加しています。訪問した日は、放課後イングリッシュ（小学生）に近隣の小学生が参加していました。プログラムが始まるまでの時間、卓球をしたり、漫画を読んだり、パソコンでゲームをしたり、思い思いの過ごし方をし、プログラムが始まると、講師の先生と英語を使ったやり取りを楽しんでいました。

放課後プログラムで人気があるのは、「マンガ教室」で、小中学生向けの初級と、大人も参加できる中級があります。遠方から参加する人もいるほどの人気で、M-baseの廊下には、マンガ教室で学んでいる子どもたちの作品がたくさん飾られていました。

M-baseの中は、来館した子どもが楽しめるような工夫が随所にあり、イベントでゲットしたエコマネーなどで交換できる駄菓子が並んでいたり、入口にはかわいい小さな水槽にメダカが泳いでいました。

駄菓子屋コーナー

イングリッシュ（小学生）の様子

思い思いの過ごし方をする子ども達

通常の放課後プログラムの他に、季節に合わせたイベントや地域とつながる活動等も行っていて、中高生がボランティアとして活躍する場にもなっています。

【開館時間】火曜～金曜日　15：00～20：30
土曜日　10：00～12：30/13：30～18：00（12：30～13：30は昼休み）
※日曜・月曜はお休み

活動拠点リーダーの比護さんより：
「Wifiもあり、ラウンジはいつでも使えるので、気軽に訪れて利用してほしい、居場所としてもっとたくさんの人に知ってもらいたい」

＜シリーズ：タウンニュースの記者が “見た・聞いた・感じた”＞

このコーナーでは、地域情報新聞「タウンニュース」南区版の門馬康二編集長が、日々、南区を回る中で感じたことなどを綴っていきます。門馬編集長は南区を担当して15年目。区役所などの行政機関や商店、市民団体などを取材し、イベントなどの現場にも足を運んで記事を書いています。

門馬編集長
（撮影：若尾久志）

行事再開と合意形成

緊急事態宣言が開けて以降、地域のイベントも徐々に開催されつつあります。

11月、南区内のある町内会が主催する防災訓練に伺いました。そこでは水消火器の体験や南消防署による放水訓練など、町内会の訓練としては充実した内容が見られました。会場の公園に集まった約100人の参加者のうち、半数近くは小学生などの子どもでした。

町内会長の方の話によると、今年に入って本格的な町内会行事はこの訓練が初めてとのことです。開催を決めたのは夏ごろ。ちょうど、感染の「第５波」が来ているところでした。開催について、小学生の保護者の一部からは「やめた方がいいのでは」という声もあったそうです。それでも、会議を重ねて説明を続け、感染対策を講じることで無事に開催できました。

防災訓練で放水訓練を見守る住民

幸いにも秋以降、感染者数は激減し、地域活動も再開しつつありますが、人が集まることに警戒感を持っている方が依然としているのは事実です。

2022年に入ると、地域活動がさらに進むことが予想されますが、そこで大切なのは、主催者側が議論を重ね、関係者に説明できる状態になっているかどうかではないでしょうか。例えば、町内会の中にも「子どもたちのためにも行事を行うべき」「まだ油断はできない。もうしばらく行事は自粛すべき」など、さまざまな意見を持った方がいます。

コロナを巡る考え方で「分断」が起きてしまうことも考えられます。全ての方が納得する結論はありません。だからこそ、決定までの話し合いや合意形成を丁寧に図っていくことが、後々のためにも重要でしょう。

登録団体活動紹介リレー

横浜みなみガイドボランティアの会

「まち歩き」を通して南区の魅力を発信します！

目的

「まち歩き」を通して南区の歴史的建造物や神社仏閣、商店街などに足を運び、学習を通して「南区の魅力」を発信し続けています。
区民の方々との交流を通して健康増進の手助け、そして地域の活性化に貢献することを目指しています。

活動内容

毎月第3木曜日の午前１０時より、みなみラウンジで定例会を開催し、活動の検討やスキル向上のための個別講座を行っています。また、班ごとに分かれ、コースの検討やガイド資料作成、下見を行います。

●●●団体結成の経緯●●●

2012年、みなみラウンジ主催「南区まち歩き養成講座」での作家山崎洋子さんの講座受講から始まりました。南区の歴史・地理的環境の講義を受け、ガイドの心構えを習得後、「実践的まち歩きガイド」を実施し、養成講座を終了。受講者中の有志18名で「みなみガイドボランティアの会」を結成しました。
2014年、南区の地域人材発掘講座事業に「みなみ郷土の歴史講座」と銘打って学芸員による歴史講座と会員ガイドによる歴史散策を企画し実施。翌年、南区主催の「南区もっと知り隊」行事受託を手始めに大岡・中村の両地区センター、六ッ川地域ケアプラザ等から行事を受託する一方、　2016年後半から自主活動として毎年４回「まち歩き」の企画計画を立て、参加者を募り、実施し、現在に至っています。

写真右：
南区内街歩きの様子

●●●今後の課題と夢●●●

高齢化の問題により会が衰退しないようガイドボランティアに興味のある方を増やし、活動を活性化していきたいと考えています。
ガイドの経験を重ね、始点から終点までの全工程のガイドを一人で実施してみたいと思っています。

～INFORMATION～

南区役所ギャラリーに展示します

南区役所1階のギャラリーで、みんなの「わっ！」フェスタの動画上映・展示、まるごとみなみ（南区施設間連携事業）の施設紹介動画上映・パネル展示を以下の期間行います。ぜひ、お立ち寄りください。

【前半】1月24日（月）～1月28日（金）
みんなの「わっ！」フェスタ展示
【後半】1月31日（月）～2月4日（金）
まるごとみなみ動画・パネル展示

南区日本語ボランティア入門講座を開催します！

地域の外国人と交流しながら、日本語習得のお手伝いをするはじめの一歩を踏み出してみませんか？

【日程】1/26、2/2、2/9、2/16、3/2　すべて水曜 13:30～15:30
【講師】有田玲子氏（東京にほんごネット代表）
【人数】25名
【申込方法】email (minamihihongo@yoke.or.jp) にて
①受講希望日　②氏名　③お住まいの区　④電話番号をお書きの上、お申込みください。
※講座の詳しい内容については、メールか電話でお問合せください。
※新型コロナウィルス感染状況により、オンライン（Zoom）での開催となる可能性があります。

1面 地域課題講座 申込方法

対象：市民活動に関心をお持ちの方（原則として3回参加できる方）
定員：15人（先着順、 12月11日より受付開始）　参加費：無料
場所：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ/南区内
申込方法：①住所 ②氏名 ③、お申込み ④年齢を書き、メール（ minami-kouza@yoke.or.jp ）
電話（045-232-9544）、FAX（045-242-0897）またはGoogle formにてお申し込みください。

Google form

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジは、誰もが心豊かでいきいきと生活できる元気な地域を実現するために自主的な活動を応援します。市民活動・生涯学習の相談・情報の提供、機材の貸出・ミーティングスペース等の利用ができます。

活動のPR・仲間募集をしませんか？

利用登録団体は、各団体が行っている市民向け講座やイベントなどのＰＲ、メンバー募集などをすることが出来ます。ご希望の際には、いつでもご連絡下さい。

次回原稿〆切： 2月 28 日（3月発行）

発行：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
〒232-0024
横浜市南区浦舟町3-46　浦舟複合福祉施設10階
045-232-9544（日本語）
045-242-0888（外国語）
当施設は南区から委託を受け、YOKE（横浜市国際交流協会）が運営をしています。